

平成 26 年度第 1 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 26 年 5 月 10 日（土） 9 時～12 時
- 2 場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3 階 大会議室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども委員 32 名（欠席者 10 名）
平成 26 年度青森市子どもサポーター 3 名
市長、事務局 6 名
- 4 次第 (1)開会
(2)市長あいさつ
(3)子ども委員自己紹介
(4)子どもサポーター自己紹介
(5)事務局職員紹介
(6)今年度の活動内容説明
(7)子どもの権利に関する学習会①
(講師 青森市子どもの権利擁護委員 小林央美)
(8)閉会

5 会議概要

平成 26 年度の子ども会議がいよいよ始まりました。

今年度の子ども会議には、小学生 5 名、中学生 13 名、高校生 14 名の合計 32 名の児童生徒が子ども委員として参加してくれました。

また、子ども委員の活動をサポートするため、3 名の大学生や社会人の皆さんに、御協力いただくことになりました。

今年度の子ども会議では、「青森市子どもの権利条例」の普及啓発活動や、自分たちの身の回りの興味のあることについてテーマを決め、調べたり話し合いをしたうえで、こうしたほうが良い、このようにしてほしいという、子ども視点での意見を表明するなどの活動を行う予定です。

なお、今年度の子ども会議の活動テーマは、第 2 回の開催時に子どもたちで話し合いをしながら決めていくこととしています。

第 1 回会議は、まず市長のあいさつから始まりました。

市長あいさつ

おはようございます。司会から「緊張していますか？」という質問がありましたので、立ってください。じゃんけんをしたいと思います。

じゃんけんのやり方はわかっていますか。私に勝った人は座ってください。私に負けた人は最後まで立つことになります。

いいですか？最初はグーから始めます。あいこはそのまま立ってください。



<何度かじゃんけんを繰り返し、立っている人が二人になりました。>

立っている人が二人になりましたので、二人に「自己紹介」をお願いします。

【子ども委員】

私は4年生の時に転校してきて、まだ青森のことが分からないので、この機会に青森のことをもっと知ろうと思って子ども委員となりました。よろしくお願いいたします。

【子ども委員】

鹿内市長の後輩（今、在学中の学校）になります。よろしくお願いいたします。

【市長】

おはようございます。今年また一年間、子ども会議、子ども委員としてよろしくお願いいたします。

初めての方もいらっしゃいますし、継続をされている方もいます。それぞれ、応募されている理由が、「友だちになりたい」とか、「将来先生になりたいと考えている」、「純粋に青森市のまちづくりに興味がある」、或いは「積極的に活動したい」、「子どもの権利条約を学んだことを活かして、自分に何ができるのか発見したい」など、いろんな応募の動機や目標があるようです。1年間、それぞれの目標、目的を達成できるように頑張ってください。

これから1年間、学校の行事や試験を目前にした日程があるなどスケジュール調整は大変だと思いますが、32名の皆さんが元気で仲良く、そしてこれからいろんな活動を皆さんが考えて決めていくということだと思いますので、1年間頑張ってくださいと思います。

私、最初にゲームをしたのは、応募の動機の中で、将来教師になりたいと考えているという方がいたからです。私も実は小さい頃先生になりたいなと思っており、高校の時にJRC活動をやっていました。JRCというのは、「ジュニア・レクリエーション・クラブ」ではなく、「ジュニア・レッド・クロス」なんです。よく、「ジュニア・レクリエーション・クラブ」と間違われるのですが、それはなぜかと言うと、今みたいにゲームばかりやっていたんです。

会議や行事を行うときに、まず緊張感をほぐし、そして、初めての方々がお互いにゲーム感覚で仲良くなろうということ、高校のときに教わりました。

私が市長になって、挨拶の時にこのようなゲームをやったのは今日が初めてです。今日、私は初めての体験をさせていただき、また、小さい頃の夢を思い出させていただいて感謝しています。今年一年間、よろしくお願いいたします。



続いて、今回、子ども委員として活動していただく子どもたちから、自己紹介と子ども委員としてやってみたいことなどを話していただきました。

子ども委員としての抱負など

- ・青森市のことを詳しく調べたりして、学びたい。
- ・自分らしさを保ちつつ、青森市のために働きたい。
- ・昨年の子どもの権利の日のイベントよりも今年は大きいことをやりたい。
- ・昨年度の活動で、子どもの権利条例について、名前は知っているけど詳しい内容までは知らないという人が多いということが分かったので、普及啓発活動に力を入れて頑張りたい。
- ・去年は外国人交流を、計画だけして、当日出席できなかったので、できれば今年もやりたい。
- ・青森のことが大好きなので、青森を日本一の街にできるように一生懸命活動をして、もっと青森のことを好きになりたい。



次に、今回、子ども委員の活動をサポートしていただく子どもサポーターから、自己紹介と抱負を話していただきました。

子どもサポーターの抱負

- ・今年も、みんながやりたいことをやれるようにサポートできればと思っている。
- ・今回はサポーター3年目ということで、今まで以上にみんなと仲良くやり、この活動を昨年よりも発展させていけたらなと思っている。
- ・去年は、途中から子どもサポーターをやらせていただき、1回しか参加できなかったのですが、今年ではできるだけ多くの活動に参加したいなと思っている。



子ども委員と子どもサポーターの自己紹介が終わり、市長は次の仕事に向かうため、「では1年間、よろしくお願いたします。」とあいさつをして、会場を後にしました。

このあと、子ども会議の活動を運営していく市の事務局職員の紹介と、今年度の活動内容の説明を行いました。

子ども会議の活動に際し、事務局は、「子ども会議の主役は、ここにいる皆さん。みんながやりたいことを楽しくやろう！」をモットーに、今後の活動を運営していきます。

10分程度の休憩をはさみ、第1回会議の後半は子どもの権利に関する学習会を行いました。

学習会の講師は、子どもの権利条例に基づき、昨年度から「子どもの権利擁護委員」をお願いしている小林央美（こばやしひろみ）先生です。

小林先生の学習会は、第1回と次回第2回の会議でもお願いすることになっています。

学習会は、まず、子ども委員同士のコミュニケーションづくりから始まりました。

最初に子ども委員にやってもらった「偏愛ゲーム」は、まず、自分が好きなこと（もの）を思い浮かべ、紙に書き、自分が何を好きなのかをペアを組んだ相手に伝え、自分のことを知ってもら（好きになってもらう）ものです。

次に、グループの中で、自分のペアになった人から自分のことを紹介してもら「他己紹介」（たこしょうかい）をしました。

他己紹介では、子ども委員みんなが楽しみながら、時には大きな笑いや共感する声此起彼伏、終始にぎやかな雰囲気でした。



続いて、机といすを片付けて、子ども委員と子どもサポーター全員でひたすらじゃんけんをしたり、小林先生が物語を読み、その中で「さい」「とら」という言葉が出てきたら、ペアを組んだ相手の手を挟み込む、というゲームをするなど、子ども委員同士、コミュニケーションづくりを行いました。



最後に「子どもの権利条例」を理解するために、「子どもの権利条約」の誕生から「青森市子どもの権利条例」の制定までの流れについて、勉強しました。

以上で第1回会議は終わりました。

次回第2回では、前半は第1回に引き続き、小林先生に講師をお願いし、子どもの権利に関する学習会の2回目を行い、後半は、いよいよ「自分たちの身の回りの興味のあること」についての活動案を委員たちに提案していただき、みんなで話し合いをしたうえで、今年度の活動テーマを決める予定です。